

高知県がん教育プログラム

高知県教育委員会事務局 保健体育課
令和2年5月

目次

1	がん教育の必要性	-----	2
2	高知県がん教育プログラム		
(1)	指導目標	-----	3
(2)	指導内容	-----	4
(3)	高知県がん教育教材	-----	5
	■ 小学校 活用例・小学校用スライド一覧		
	■ 中学校 活用例・中学校用スライド一覧		
	■ 高等学校 活用例・高等学校用スライド一覧		
(4)	がん教育を行う上での留意事項	-----	15
	■ 児童生徒の保護者ががん患者、または、がんによって 亡くなられている場合		
	■ 小児がんの既往がある児童生徒が在籍する場合		
	■ 生活習慣とがんとの関連性について		
	■ 外部講師の招聘について		
	(参考資料)		
	事前事後アンケート	-----	17

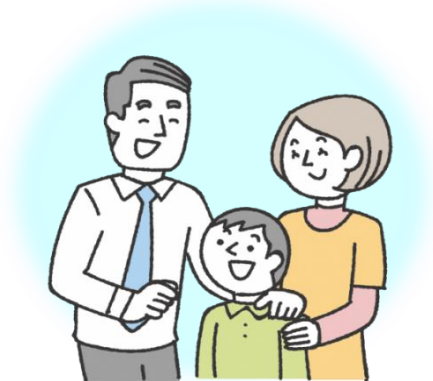
1 がん教育の必要性

がんは30年ほど前から日本人の死因の第1位となっており、その数は増え続けています。また、生涯で2人に1人が罹患すると言われ、家族や身近な人がかかる可能性が高い病気となっており、子どもが家族への思いなどを通して健康について考えを深められる、身近で意義深い教材です。

しかし、現在「がん」については、生活習慣に起因することが多いことを学習していますが、「がん」という病気そのものや、がん患者に対する理解を深める内容にまでは至っていません。

子どもの頃から「がん」に対する正しい知識を身につけることは、やがて成人期に定期的ながん検診を受ける動機付けとなり、病気の早期発見が可能になることや、「がんは不治の病」、「死に直結する病」という誤解や偏見からくる根拠のない過度な恐怖心を取り去ることにもつながります。

これらのことから、学習活動を通して「がん」について正しい知識を学び、「がん」を予防するために自分たちができることを考え実践していく態度を養い、「いのち」の大切さや身近ながん患者やその家族に対する思いやりの気持ちを育成していく必要があります。



2 高知県がん教育プログラム

■ 小学校・中学校・高等学校12年間での系統立てたプログラム

各発達段階に応じた学習内容を取り上げ、がんに対する正しい知識と予防や早期発見の有用性、がんの治療やその回復について、小学校入学から高等学校卒業まで系統的に学ぶことを目指します。

さらに12年間を通して、がんを教材として健康や命の大切さ、その人らしく生き抜くことの尊さに気付かせ、生涯を通じた健康の自己管理能力の育成を目指します。

■ 主体的、対話的で深い学びによる学習

がんは身近な健康課題であることを確認し、がんを予防するために自分ができることを主体的に考え、子ども同士の協働、教職員や外部講師との対話的学びにより、自己の考えを広げ深めながら、大切な人の命を守るためにできることを考える学習内容を目指します。

■ 児童生徒から親世代への啓発

児童生徒に健康を保持増進していくための生活行動を実践する態度を育成していくことを土台とし、学んだこと・考えたことを児童生徒が家族に伝えることにより、家庭内での『がん予防・早期発見』に対する意識向上が図られることを目指します。

(1) 指導目標

- がんの正しい知識を理解し、疾病を予防し健康を保持増進していくための生活習慣を継続していかうとする態度を身に付ける。
- がんは生きている限り誰にでも起こる病気として捉え、病気や死といかに向き合うかを考えることを通して、健康や命の大切さに気づく。

「がんを教える」のではなく、「がんで教える」健康教育としてのがん教育の定着を目指します。

(2) 指導内容

小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 体育編、中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 保健体育編及び高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編 体育編には、指導内容として以下のように示されています。

小学校	(3)病気の予防 (イ)喫煙、飲酒、薬物 乱用と健康	(中略)、喫煙を長い間続けるとがんや心臓病などの病気にかかりやすくなるなどの影響があることについても触れるようにする。
中学校	(1)健康な生活と疾病 の予防 (ウ)生活習慣病などの 予防 ①がんの予防	<p>がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることを理解できるようにする。</p> <p>また、がんの予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることを理解できるようにする。</p> <p>なお、(中略)、健康診断やがん検診などで早期に異常を発見できることなどを取り上げ、疾病の回復についても触れるように配慮するものとする。</p>
高等学校	(1)現代社会と健康 (ウ)生活習慣病などの 予防と回復	<p>がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解できるようにする。</p> <p>その際、がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できるようにする。</p> <p>がんの回復においては、手術療法、化学療法(抗がん剤など)、放射線療法などの治療法があること、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることについて適宜触れるようにする。</p> <p>また、生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。</p> <p>なお、日常生活にスポーツを計画的に取り入れることは生活習慣病などの予防と回復に有効であること、また、運動や食事について性差による将来の健康課題があることについて取り上げるよう配慮する。</p>

(3) 高知県がん教育教材

前述の指導目標及び指導内容を踏まえ、各校種の学習指導要領の記載内容を基本としながら、シナリオ付きのスライド教材を作成しました。

各学校の児童生徒の実態や授業のねらいに合わせて、各校種のスライドを組み合わせながら指導することも可能です。また、指導者自身ががんについて理解を深めるための資料としてもご活用ください。

高知県がん教育教材掲載サイト

●高知県教育委員会事務局保健体育課 学校保健

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310501/hoken1.html>

○小学校

(活用例)

体育科 保健(6年)		
ねらい	喫煙の影響について知るとともに、喫煙を長い間続けるとがんなどの病気にかかりやすくなることを理解できるようにする。	
授業進行案	学習活動 1.がんとはどのような病気かを知る。 2.がんの原因と予防について知る。 3.がんを予防するために、自分にできることを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 自分の生活を振り返って、がんになりにくい強い体を作るために、自分にできることを考えよう。 </div>	使用スライド No. 1～10 No.11～21 No.22～27

特別活動 学級活動		
ねらい	がん経験者の方のお話を通して、健康や命の大切さについて考え、大切な他者との関わり方や自分の言動を意識して過ごすことができるようにする。	
授業進行案	学習活動 1.がんの現状を知る。 2.がんの原因と予防について知る。 3.がん経験者のお話を聞いて、自分にできることを意志決定する。 (がん経験者のお話については、文部科学省 がん教育推進のための教材 指導参考資料 映像教材「がんと生きる」 参照) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> がんから家族や周りの大切な人の命を守るために、自分にできることを一つ考えてみよう。 </div>	使用スライド No. 1～5、9、10 No.12、13、21～24 No.28～30

16 **がんの原因**

生活習慣のみだれ

17 **がんの原因3**

食事 **野菜を食べよう**

肉 野菜不足 塩分 塩分は少なく

18 **がんの原因4**

運動 やせすぎ

運動不足 太りすぎ

19 **身長体重のバランスをチェック**

1 身長と体重のバランスを計算し、今の自分の体格を判定してみましょう。

ローレル指数 = 体重(kg) ÷ 身長(m)³ × 10

ローレル指数	判定
100未満	やせすぎ
100~115未満	やせぎみ
115~145未満	普通
145~160未満	太りぎみ
160以上	太りすぎ

20 **今、わたしたちにできること**

健康に良い生活習慣

たばこ 正しい食生活 運動

お酒の飲みすぎ

21 **がんは原因が分からないものが多い**

「がんになったのは、生活習慣が悪かったから」とは限りません。悪いのは患者さんではなく、がんという病気です。

ほけつがん、のりゅうがん
* 小児がん(白血病や脳腫瘍など)も生活習慣とは関係なく発症するものが多いです。

22 **がんからあなたと大切な人の命を守るためには**

23 **小さいうちに治療すれば**

がんが検診で見つかる大きくなる

10~20年 1cm

1~2年 2cm

体に症状が出る

小さいうちに早く見つけること(早期発見)が大切

24 **がん検診で早期発見 小さいうちに見つけて治そう**

おうちの人にも、健康でいてほしいから…

がん検診の大切さを伝えよう!

検診って毎年受けてる?
精密検査もちゃんと受けてね

25 **1. がんを予防するために**

- ① たばこはすわない、煙もさげよう
- ② お酒は飲み過ぎない
- ③ 野菜はたっぷり、塩分はひかえめに
- ④ 運動して体型に気をつける

2. がんを早く見つけるために

症状はなくても定期的に(1~2年に一度)にがん検診を受ける

26 **健康のために今から始めよう!**

27 **2 自分の生活をふり返って、がんになりにくい強い体を作るために、自分にできることを考えよう**

- ① できることは…
- ② ひとつ目標を決めよう!
【その目標にした理由】

28 **がん経験者の方のお話を聞こう**

29 **もしも身近な人ががんになったら**

想像してみて…
自分の周りの人が急に病気になったら

今はいろいろな治療法があるとはいっても…
今までの生活が変わってしまうってこと…

おとなに近づいている君たちには何が出来るのだろう?

30 **3 がんから家族や周りの大切な人の命を守るために、自分にできることを1つ考えてみよう**

○中学校
(活用例)

保健体育科 保健分野(2年)		
ねらい	がんの正しい知識を理解し、予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることを理解できるようにする。	
授業 進行案	学習活動	使用スライド
	1.がんとはどのような病気かを知る。 2.がんの原因とがん検診について知る。 3.がんを予防するために、自分にできることを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">がんを予防するために、自分にできることを考えよう。</div>	No. 1～12 No.13～26 No.27

特別活動 学級活動		
ねらい	がんと向き合う人々に対する共感的な理解を深め、健康と命の大切さに気付かせ、自分ができることを考えることができるようにする。	
授業 進行案	学習活動	使用スライド
	1.がんの現状を知る。 2.がんの原因と予防について知る。 3.がん経験者のお話を聞いて、自分にできることを意志決定する。 (がん経験者のお話については、文部科学省 がん教育推進のための教材 指導参考資料 映像教材「がんと生きる」 参照) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">大切な人ががんになったら、あなたはどんなことをしますか。</div>	No. 1～7、11、12 No.14、15、18～20 No.22、26、31～32

総合的な学習の時間 「健康に関する内容」(健康に関する研究課題)		
単元の ねらい	地域の現状を把握し、「がん検診受診率 100%プロジェクト」を考えることを通して、自分の地域の将来を考え、地域の人々が健康に暮らすためにできる方策を考えることができるようにする。	
単元 進行案	学習活動	使用スライド
	1.がんの現状について振り返る。 2.がん検診の受診率とがん検診の重要性について知る。 3.家族や周りの大切な人にがん検診を受けてもらえるように、がん検診の受診率を向上させるには、どうすればよいかを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">〇〇市がん検診受診率100%プロジェクトを考えよう。</div>	No. 1～7、 No.22～26 No.29

※総合的な学習の時間の特質を踏まえた学習過程により実施する必要がある。

〔 中学校用スライド一覧 〕

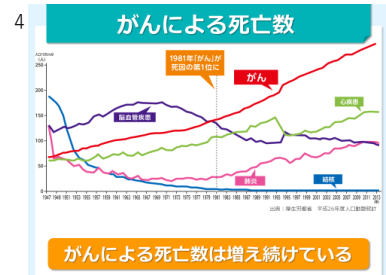
1 **がんを学ぼう**
あなたと大切な人の命のために

資料制作：高知県教育委員会事務局保健体育課、高知県がん教育推進協議会
 監修：高知県立大学 がん教育推進センター（がん教育推進センター）
 株式会社エディオン「がん教育プログラム（中学校・高等学校用教材）」
 国立がん研究センターがん情報サービス「がん教育推進センター（中学校・高等学校用教材）」

2 **本時のめあて**

『がん』から命を守るために、わたしたちにできることは何だろう

3 **日本・高知県ではどれくらいの方ががんになっているのだろう**



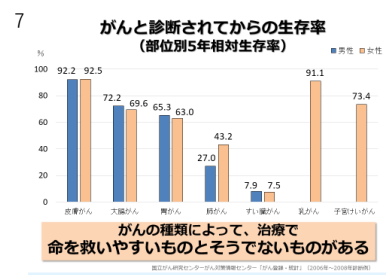
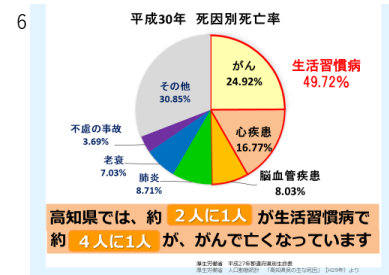
5 **日本では、約 2人に1人 が、がんになっている**

日本人は、一生のうち

男性の 62% 3人に2人
女性の 47% 2人に1人

が、がんになる

誰もががんになる可能性がある



8 **がんとはどんな病気だろうか**

9 **がんのしくみ**

わたしたちの体は細胞からできていて、細胞は毎日分裂し、新しくなっている 約37兆個

がんのしくみ

10 **がんのしくみ**

細胞分裂するとき 傷ついたり性質が違ったものができたり (変異) することがある

11 **変異した細胞はどうなるのだろうか**

正常に修復 排除

修復や排除により正常に保たれるしくみがある

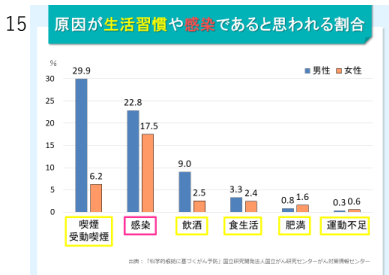
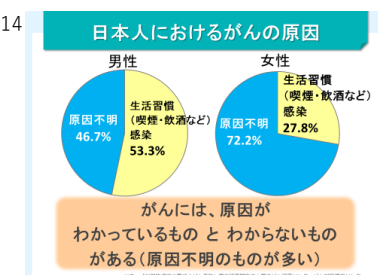
12 **修復のしくみがうまく働かないと**

正常な細胞に治せない 異常な細胞が増えかたまりになる 悪性のものをがんという

正常な組織を壊しながら広がり、器官の働きを悪くしてしまう

血管などに入り込んで全身に広がることもある

13 **がんの原因は何だろう**



16 **がんの原因 1**

生活習慣 (喫煙、飲酒など)

5つの生活習慣に気をつけて生活をする人は、そうでない人に比べて **男性で43%、女性で37%** ががんになるリスクが低くなる。

禁煙 節酒 食生活を見直す 身体を動かす 肥満防止

17 **がんの原因 2**

感染 (細菌・ウイルス)

- ヒロリ菌 (胃がん)
- 肝炎ウイルス (肝臓がん)
- HPV (子宮頸がん)

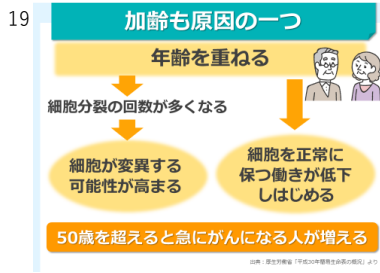
感染源や感染経路、薬による除菌・予防接種などについての正しい知識を身に付けて、予防や早期発見・早期治療を心がけよう

18 **がんの原因 3**

遺伝的原因

遺伝的原因 約5%
生活習慣 (喫煙・飲酒など) 感染 約95%

1~2年に一度の定期検診をしっかり受けるなど早期発見に努めよう

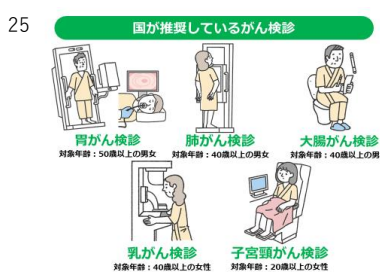
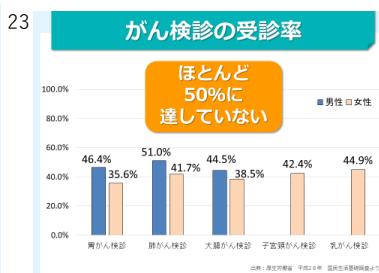


20 **がんは原因が分からないものが多い**

「がんになったのは、生活習慣が悪かったから」とは限りません。
悪いのは患者さんではなく、がんという病気です。

* 小児がん(白血病や脳腫瘍など)も生活習慣や細菌ウイルスとは関係なく発症するものが多いです。

21 **がんからあなたと大切な人の命を守るためには**



26 **がん検診で早期発見**

定期的に検診を受けて、自分では気づかない小さな異常を見つけよう

大切な人にも、健康でいてほしいから...
検診の大切さを伝えよう！

- 27 **がんを予防するために**
- 5つの生活習慣を身につけよう
 - 禁煙
 - 節酒
 - 食生活を見直す(野菜の摂取、塩分を控える)
 - 身体を動かす
 - 肥満防止
 - 正しい知識を身につけて、感染予防
- がんを早く見つけるために**
- 症状はなくても1~2年に一度、定期的ながん検診を受ける

28 **がんを予防するために自分にできることを考えよう**

29 **〇〇市がん検診受診率100%プロジェクトを考えよう**

30 **もしも身近な人ががんになったら**

想像してみてください...

自分の周りの人が急に病気になったら

今はいろいろな治療法があるというもの...
今までの生活が変わってしまうこと...

おとなに近づいている君たちには何が出来るのだろうか？

31 **がん経験者の方のお話を聞こう**

32 **もし大切な人ががんになったらあなたはどんなことをしますか**

○高等学校
〔 活用例 〕

保健体育科 保健(1~2年)		
ねらい	<p>がんを予防するためには、調和のとれた健康的な生活を続けること、定期的ながん検診などを受診することが必要であることを理解できるようにする。また、がんの種類や原因、予防と回復について理解し、予防や回復には個人の取組とともに、社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。</p>	
授業 進行案	<p>学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. がんとはどのような病気かを知る。 2. がんの原因とがん検診について知る。 3. がんの治療法と支援について知る。 	<p>使用スライド</p> <p>No. 1~11 No.12~25 No.29~39 49</p>
	<p>がんから命を守り、心身ともに回復していくためにはどんなことが必要だろう。</p>	

特別活動 ホームルーム活動		
ねらい	<p>がん患者の思いを知り、自己の生き方・在り方を考えるとともに、大切な人ががんになったらどのように接するか、考えることができるようにする。</p>	
授業 進行案	<p>学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. がんの現状と原因について振り返る。 2. がんの治療と支援について知る。 3. がん患者の思いが書いた事例をもとに、がん患者の思いを知り、自分ならどのように接するかを考える。 	<p>使用スライド</p> <p>No.4、12、13 18~23 No.29~39 No.40~44 50</p>
	<p>もし大切な人ががんになったら、あなたはどのように接しますか。</p>	


総合的な探究の時間「健康に関する内容」(健康に関する探求課題)		
単元の ねらい	<p>これまで学習してきた「がんの原因」や「がん検診の大切さ」等を参考にしながら、健康を保つために効果があり、みんなががん検診を受けようと思えるような社会的な対策について考えることができるようにする。</p>	
単元 進行案	<p>学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. がんの現状について振り返る。 2. がん検診の受診率とがん検診の重要性について知る。 3. 家族や周りの大切な人にがん検診を受けてもらい、がん検診の受診率を向上させるには、どうすればよいかを考える。 	<p>使用スライド</p> <p>No. 4~6 No.21~28 No.51</p>
	<p>高知県のがん検診受診率をあげるためには、何ができるか考えよう。</p>	

総合的な探究の時間「健康に関する内容」(健康に関する探求課題)		
単元のねらい	がん患者との共生に必要な視点や考え方をもとに、がん患者が暮らしやすい社会とはどのような社会か、考えることができるようにする。	
単元進行案	学習活動	使用スライド
	1. がんの現状と原因について振り返る。 2. がんの治療への支援とがん患者の思いについて知る。 3. がん患者の仕事についての事例を読み、がん患者が暮らしやすい社会とはどのような社会かを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> がん患者が暮らしやすい社会とはどのような社会だろう。 </div>	No.4、12、13 18~20 No.34~44 No.45、46

※総合的な探究の時間の特質を踏まえた学習過程により実施する必要がある。

(高等学校用スライド一覧)

1 **がんを学ぼう**
あなたと大切な人の命のために



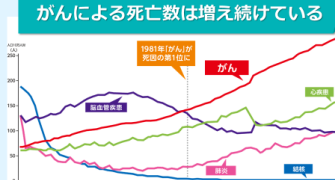
資料提供：高知県新産業育成会 高知県産産体 高知県がん教育推進協議会
 高知大学 大学院教育学部「がん教育推進センター」
 株式会社ケンテック「がん患者サポートセンター(中学・高等学校生徒向け教材)」
 国立研究開発機関 国立がん研究センターがん情報資源センター「がんゲノム医療センター」

2 **本時のめあて**

『がん』から命を守り、心身ともに回復をしていくためには、どんなことが必要だろう

3 **日本・高知県ではどれくらいの人のがんになっているのだろう**

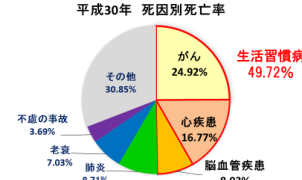
4 **がんによる死亡数は増え続けている**



2019年のがんが原因の死亡数は、心臓病、脳血管疾患、不慮の事故、肺炎、老衰、心疾患、脳血管疾患、がん、生活習慣病

日本は、一生のうち
 男性の62% 3人に1人
 女性の47% 2人に1人
 誰もが、がんになる可能性があるが、がんになる

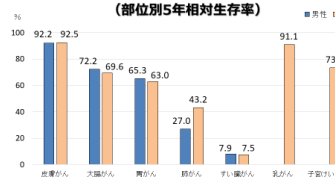
5 **平成30年 死因別死亡率**



生活習慣病 49.72%
 がん 24.92%
 その他 30.85%
 心疾患 16.77%
 脳血管疾患 8.03%
 肺炎 8.71%
 老衰 7.03%
 不慮の事故 3.69%

高知県では、約 2人に1人が生活習慣病で約 4人に1人が、がんで亡くなっています

6 **がんと診断されてからの生存率 (部位別5年相対生存率)**



がんの種類によって、治療で命を救いやすいものとそうでないものがある

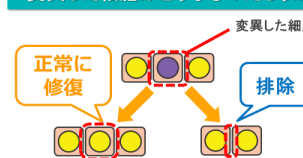
7 **がんとはどんな病気だろうか**

8 **がんのしくみ**

わたしたちの体の細胞は毎日分裂し新しくなっている 約37兆個

細胞分裂するとき **変異** が起こることがある

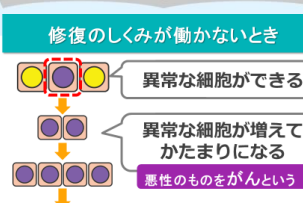
9 **変異した細胞はどうなるのだろうか**



正常に修復 排除

修復や排除により正常に保たれるしくみがある

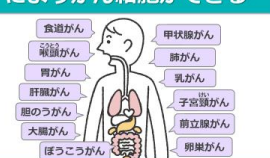
10 **修復のしくみが働かないとき**



異常な細胞ができる
 異常な細胞が増えてかたまりになる
 悪性のものをがんという

正常な組織を壊しながら広がり器官の動きを悪くする
 *血管などに入り込んで全身に広がる(転移)こともある

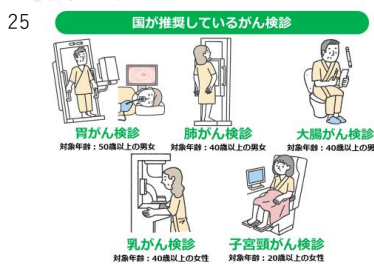
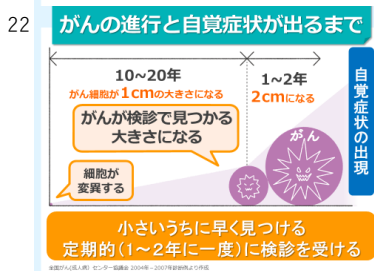
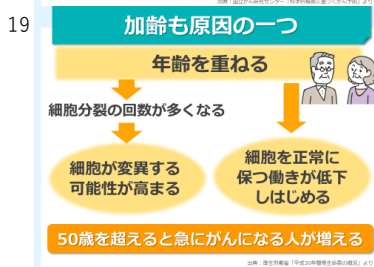
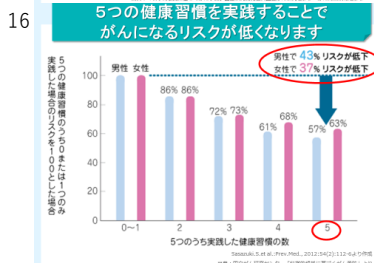
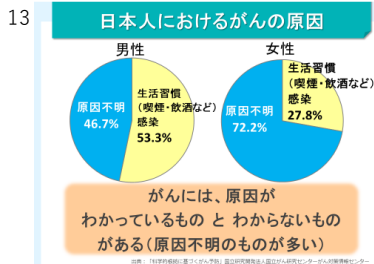
11 **細胞が分裂するときの変異によりがん細胞ができる**



食道がん、膵臓がん、胃がん、肝臓がん、胆のうがん、大腸がん、ぼうこうがん、甲状腺がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん、卵巣がん

細胞が分裂するすべての臓器にがんができる可能性がある

12 **がんの原因は何だろう**



28 がん検診で早期発見

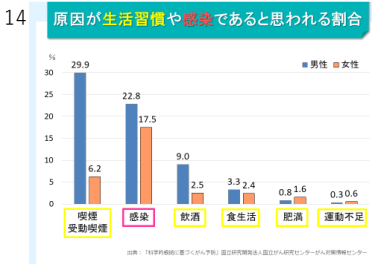
定期的に検診を受けて、自分では気づかない小さな異常を見つけよう

大切な人にも、健康でいてほしいから... 検診の大切さを伝えよう!

31 がんの治療法

がんの種類や状態などにより選ぶ

- 手術** 手術でがんを取り除く
- 放射線** 放射線でがんの細胞を死滅させる
- 薬物** 抗がん剤などの薬によりがん細胞の増殖を抑える



17 がんの原因 2

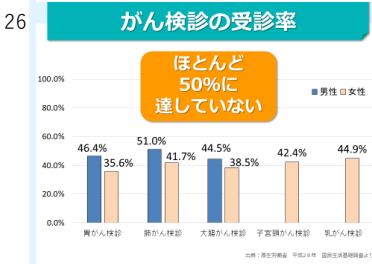
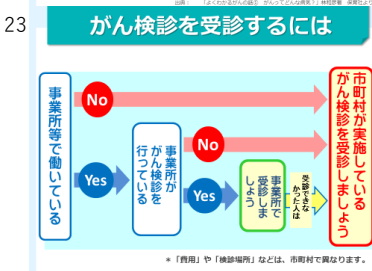
感染 (細菌・ウイルス): ヒロリ菌(胃がん)、肝炎ウイルス(肝臓がん)、HPV(子宮頸がん)

感染源や感染経路、薬による除菌・予防接種などについての正しい知識を身に付けて、予防や早期発見・早期治療を心がけよう

20 がんは原因が分からないものが多い

「がんになったのは、生活習慣が悪かったから」とは限らない。悪いのは患者さんではなく、がんという病気。

早期発見とできるだけ早く適切な治療を開始することが大切



29 がんはどのように治すのだろう

治療法を決めるとき大切なこと

自分の病気・検査・治療などについて十分な説明を受け、理解した上でどのような医療を受けるか選択する

相談: 患者の価値観、希望する生き方

十分な説明: 説明の理解

治療法を理解し 自分で選ぶという意識が大切

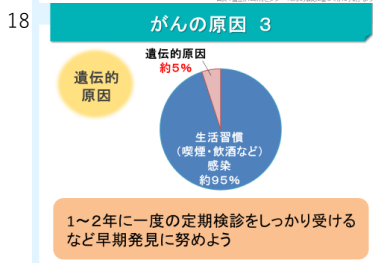
32 治療法を決めるとき大切なこと

自分の病気・検査・治療などについて十分な説明を受け、理解した上でどのような医療を受けるか選択する

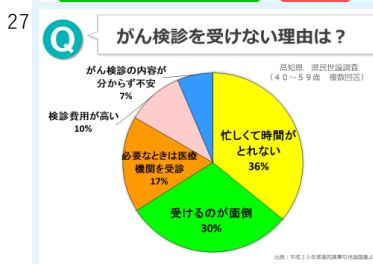
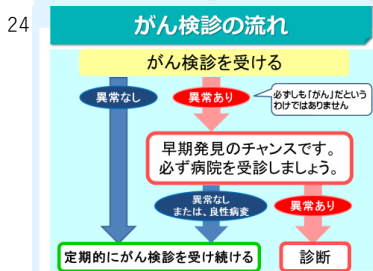
相談: 患者の価値観、希望する生き方

十分な説明: 説明の理解

治療法を理解し 自分で選ぶという意識が大切



21 がんからあなたと大切な人の命を守るためには



30 がんの治療法

治療法は主に3つ: 手術、放射線、薬物 (抗がん剤などの薬)

●がんの種類や状態などにより選ぶ
●いくつかの治療法を組み合わせることもある

33 がん患者の「生活の質」

一人一人の生き方が異なるように、がんへの向き合い方もそれぞれ

自分らしく生きられるよう 生活の質 (クオリティ・オブ・ライフ) の維持・向上が大切

34

がん治療には どのような 支援が 必要なのだろう

37

Q がんの治療中に支援が必要な人は誰だろう

体の痛み 心の痛み

がん患者だけでなく
支える**家族**も
支援が必要

40

周りの人に できることは 何だろう

43

Q がん患者とどのように接すればよいのだろう

事例3

親戚にがんになったことを伝えたとき、「かわいそう」と泣き出されてしまいました。心配してくれてありがたいという気持ちはあったものの、親戚の態度に、もうわたしは治らないのではないか、死を待つしかないのではないかと気持ちになり落ち込みました。

(患者手記より)

46

がんについて周囲の理解がある

がんの治療に協力を得られる

がんへの正しい理解が誰もが暮らしやすい社会につながる

49

がんから命を守り、 心身ともに回復して いくためには、 どんなことが必要だろう

52

がん患者が 暮らしやすい社会とは どのような社会だろう

35

がん治療に必要な支援

体の痛み

体が痛くてつらい

がんを取り除くだけでなく、薬で痛みをやわらげ、その人らしい生活を送れるようにします。

医師

38

がん治療に必要な支援

心の痛み

治療の費用が心配

生活面や医療費などの相談にのり、公的支援につなぐなどのお手伝いをします。

ソーシャルワーカー

41

Q がん患者とどのように接すればよいのだろう

事例1

友人という時間は、病気とは何の関係もない自分でいられる時間です。

何でも無い話をして、一緒に笑って、ともに過ごすことで、「患者」としてではない、これまで通りの「自分」を取り戻せるような気がします。

(患者手記より)

44

家族や友人にこれまで通り接してほしい

がんを正しく理解してほしい

がん患者にはさまざまな願いがある

47

がん経験者の方の お話を聞こう

50

もし大切な人が がんになったら あなたは どのように接しますか

36

がん治療に必要な支援

心の痛み

将来のことが不安で眠れない

患者さんの不安に耳をかたむけ、前向きに人生に向き合うお手伝いをします。

心理カウンセラー

39

緩和ケア



42

Q がん患者とどのように接すればよいのだろう

事例2

友人にがんになったことを伝えたとき、「生活習慣が悪いからがんになったんだ」と、あっけらかんと言われました。

わたしは共働きで、妻と交代で食事を作っていました。常にバランスの良い食事を心がけていたつもりです。妻も責められているような気持ちになり、悲しくなりました。がんに対する誤解や決まっけがなくなればと思います。

(患者手記より)

45

Q がん患者が暮らしやすい社会とはどのような社会だろう

営業の仕事で働いていましたが、30代でがんとなり、手術と抗がん剤治療を受けました。今も定期的に病院に行き、体調を管理しています。

体力が戻りきらず、仕事を続けることが難しくなり、退職せざるをえませんでした。好きな仕事だったので、本当に残念でした。ただその後、病気を理解してくれる職場と出会い、今は、体調を優先して働くことができています。

48

もしも身近な人ががんになったら

想像してみてください・・・

自分の周りの人が急に病気になったら

今はいろいろな治療法があるというものの・・・
今までの生活が変わってしまうってこと・・・

もうすぐおとなになる君たちには何が出来るのだろうか？

51

高知県のがん検診の 受診率を上げるためには 何が出来るか考えよう

(4) がん教育を行う上での留意事項

2人に1人が生涯のうちにかんにかかると言われていることから、児童生徒の家族にかんの罹患者がいることも珍しくありません。そのような状況におけるがん教育の実施は、児童生徒の発達段階を踏まえるとともに、誰もがかかりうる疾患であるという前提で、家庭や地域の状況を把握し、適切に取り組む必要があります。

事前事後アンケートの実施(P.16～17)により、児童生徒の実態を把握し、実態に即した指導の工夫を行いましょ。

■ 児童生徒の保護者ががん患者、または、がんによって亡くなっている場合

がん経験者のお話を聞く等、命について考える授業内容とする場合には、心理面での配慮が特に必要です。実施に当たっては、保護者や児童生徒に対して予定されている指導内容を伝え、がん教育の目的の理解を図りましょ。その上で、保護者や本人の気持ちに配慮した指導内容の工夫等を行うことが望まれます。

授業中は、特に配慮が必要な児童生徒はもちろん、すべての児童生徒の様子を確認しながら進行する必要があり、外部講師を招聘する場合には、配慮が必要な児童生徒の情報を伝えるなどの事前の打合せを行うことが考えられます。

なお、体育科及び保健体育科で学習するがんの疾病に関する知識理解については、正しい知識を身に付けることで、がんに対する過度の恐怖心や偏見をなくすという点からも、学習の機会を保障できるようにすることが大切です。

■ 小児がんの既往がある児童生徒が在籍する場合

このがん教育の内容は、成人期のがんを対象としています。小児がんは成人期のがんとは要因や種類が大きく異なります。そのことを十分に理解し、小児がんに対する偏見につながらないような配慮が必要です。小児がんの既往のある児童生徒が在籍する場合は、事前に保護者に連絡を行い、指導内容を説明することが望まれます。また、指導時期については、当該児童生徒の状況に合わせて必要であれば延期することなどが考えられます。

■ 生活習慣とがんとの関連性について

生活習慣の改善によって、将来がんになる可能性を低くすることはできますが、生活習慣以外の様々な要因も複雑に関係しており、完全に防げるわけではないことを踏まえ、『がん患者＝本人の生活習慣が悪かった』という偏見につながらないような指導の工夫をすることが必要です。

■ 外部講師の招聘について

がんに関する専門的知識を持つ医療関係者やがん経験者による指導は、がん教育の内容をより充実させるためには効果的であると考えられます。

また、授業計画の作成に当たっては、授業を企画する教員が主体となるよう留意するとともに、事前事後で十分に打合せを行うことで教育効果を高めることが期待できます。

事前打合せの資料は、事前・事後指導の計画や授業で話していただきたい内容、事前アンケートの結果から分かった配慮事項等、できるだけ具体的に作成し、講師と相談をしながら授業を作り上げていくようにしましょう。外部講師による指導が単発的なものにならないように、事前・事後指導と関連性を持たせながら、どのようなねらいを持って実施され、どのように活かされていくのかを考え、効果的な指導となるように計画しましょう。

外部講師を招聘する場合、保健の授業や道徳等を事前・事後指導として取り入れると、より理解が深まります。

がん教育に関する外部講師派遣打合せ資料（例）

実施日時	令和 年 月 日 : ~ :
実施場所	
参加予定人数	児童・生徒（ ）人 教職員（ ）人 保護者（ ）人
学校側の授業者 (コーディネーター)	職名： 氏名：
めあて	
話していただきたい内容 (具体的に)	
避けてほしい内容	
児童生徒の実態	
配慮が必要な児童生徒	
事前事後学習計画	事前学習： 事後学習：
準備物	

「がん」の学習 事前アンケート (例) _____ 年 氏名

月 _____ 日 () に、みなさんと「がん」について学習します。がんについて知っていることや思っていることを教えてください。

1 がんのお話は、命や健康に関するお話です。あなたは、がんのことやがんにかかっている人のお話を聞いて、つらい気持ちになりそうですか。

- ①つらい気持ちにならずに、話を聞くことができる
- ②つらい気持ちになりそうだが、話を聞きたい
- ③つらい気持ちになりそうなので、話を聞きたくない ⇒ 先生と相談しましょう

2 家族や知っている人ががんになった人がいますか。

- ①いる
- ②いない
- ③わからない
- ④答えたくない

	①そう思う	②少しそう思う	③わからない	④思わない
3 がんは、怖い病気である。				
4 がんは、痛い病気である。				
5 がんは、治らない病気である。				
6 がんは、予防できる病気である。				
7 たばこを吸うことでがんの危険が高まる。				
8 がんは、早期発見すれば治りやすい。				
9 がんは、老化とともにかかりやすくなる。				
10 自分も将来がんにかかるかもしれないと思う。				

11 家族や身近な人と「がん」について、話したことがありますか。

- ①ある
- ②ない

12 がんについて、知りたいことや質問があれば、書いてください。

「がん」の学習 事後アンケート (例)

年 氏名 _____

がんのお話を聞いて、わかったことや思ったことを教えてください。

	①そう思う	②少しそう思う	③わからない	④思わない
1 がんは、怖い病気である。				
2 がんは、痛い病気である。				
3 がんは、治らない病気である。				
4 がんは、予防できる病気である。				
5 たばこを吸うことでがんの危険が高まる。				
6 がんは、早期発見すれば治りやすい。				
7 がんは、老化とともにかかりやすくなる。				
8 自分も将来がんにかかるかもしれないと思う。				
9 健康によい生活習慣を続けることが大切だと思う。				

10 授業で学んだ「がん」について、家族や身近な人と話をしようと思いますか。

①そう思う ②少しそう思う ③わからない ④思わない

①、②を選んだ人は、どんなことを話そうと思いますか。

() がんの原因 (食事、たばこ、お酒などの生活習慣など) について

() がん検診について

() がんとはどういう病気か

() その他 (内容: _____)

11 今日のお話を聞いて、感じたこと・考えたことを書いてください。

ありがとうございました。